

「児童の学びを止めない」～令和4年度 工夫して教育活動に取り組んでいます。～

令和4年度が始まり1か月が経ちました。児童も、新しい学級で、新しい先生や友達との生活に少しずつ慣れてきたようです。どの学級も4月～5月は、「こんな学級にしたい」という1年間の目標（スローガン）を決め、学習道具の確認・話の聞き方・発表の仕方といった学習規律、給食・掃除の仕方といった生活のきまり、「あいさつやふわふわ言葉を使って繋がろう」といった友達との関わり方を、実際に学びながら身に付けようと担任と児童と一緒に奮闘しています。学級で1年間安心・安全に過ごせるように、みんなで伸びていけるように、ルール作りを行うことは大切なことです。

さて、コロナ禍での生活も3年目ですが、中々明るい兆しは見えない現状が続いています。そのような中、学校では、今年度も、感染症拡大防止に努めながら、児童の学びを止めず、工夫して教育活動を行っています。4月の2年生以上のオンラインでの学習参観、今月上旬に行った、政庁跡から学校に戻ってお弁当を食べた歓迎遠足、そして下旬に学年別に行う予定の運動会もそうです。

児童もできることを精一杯行っています。保護者や地域の皆様にも、これまでご理解ご協力いただきありがとうございます。今後とも感染症に配慮して行う学校の教育活動への応援をよろしく願いいたします。



「こんにちは。これからよろしく！1年生」～歓迎遠足～

5月2日（月）、歓迎集会・歓迎遠足を行いました。お天気に恵まれ、3年ぶり1～3年生は小学校生活初めての遠足でした。チョウが舞う田畑やさらさら流れる水路等、自然を感じながら、ゆっくり歩いて太宰府政庁跡まで行きました。1年生は6年生と一緒に。「ここは止まるよ。」「走らないでいいよ。」「きつくない？」「もう少しだよ。」と6年生は1年生の表情を見ながら声を掛け気遣いながら歩いていました。頼もしい姿でした。1年生も6年生に支えられ頑張って歩き通しました。政庁跡では、1年生と6年生、2年生と5年生もペアをつくり、3年生4年生はそれぞれ学級や学年毎に、鬼ごっこや長縄、「だるまさんがころんだ」等をして遊んでいました。汗をかきながらも広い政庁跡を走り回っている児童の弾ける笑顔がとても印象的でした。

感染症拡大防止の観点から、お弁当は、学校に戻り教室で、児童同士の距離をとりながらの黙食でした。お家の方に作っていただいたお弁当をもりもり食べ、嬉しさいっぱいの児童。

この1日の児童の姿を見て、例年通りとはいかなくとも「行ってよかった」と感じた遠足でした。



通学路指導

○13日（金）、1～6年生の児童が地域ごとに集まり一緒に下校をする通学路指導を行いました。太宰府小の通学路指導には、PTAの地区委員の方が参加してくださるのが特徴です。地域のこと・地域での子ども達の様子がよりご存知の地区委員さん方に、交通面や地形面、不審者対応等、通学路や地域で気を付けることを児童に詳しく話していただきました。実際の下校の際には、先頭を歩きながら通学路や話と実際の場所を結び付け確認をしていただきました。通学路については、決まった幹線道とそれぞれの自宅へ続く枝分かれの道がありますが、地域の児童の人数や交通事情によってこれまで変わることもあったようです。今年度は、校区安全対策会議等でも議題に挙げ、通学路の安全について学校・保護者・地域の3者で考えていきたいです。

○「車で正門から出てすぐの交差点を右左折する時、歩行者と接触しないよう、一旦停止を必ずし、減速して通るようにした方がよい。」と教えていただきました。歩行者も車も、安全に気を付けましょう。